

然るに常に正義人道、公明正大を標語とする新開社
資本家は、この我々の正當な最少限度を越め、私を撃
のせとにはおつけた。あ、何の正義人道か！ 何の公明正
大か！

我々も人間である。人間が人間として生きて行くため保證を與
へられども、太い働くことの外強制せられども今日の資
本家萬能の社會に於いて文明と文化と公正を標榜し
て立つ新聞社に向ひて彼等からかに非人道的偽瞞の人道
主義者であり、大訴の偽師であることを暴露する所と左時に
我らの生活のために、我々新聞社は立ち苏かつたので

立の新聞社に向つて彼等かゝに非人道的偽瞞の人道主義者であり、大訴偽師であるを暴露する。左時に我らの生活のために我々新聞社印刷工は立ちあつたのである。

市民議院の席上に於て
我々の決死的左争議に對して諸君の熱誠を同情と應援
とお邊た。 朝日新聞社争議團
大正六年六月二十一日
國民新聞社
監修會
日本書院
編集
監修
東洋

同志勇敢上陣

カツカーテルスナム

何たる氣勢也!!吾之同志は嘗て之を主導力、想像力、力から、反帝反共義の爲め大いに國情へ戦つて國情の力が微弱化し資本主義に乘せられ、前著者も此を要求せ根據化せり、且仁年と松り合つて國情へと昇進を始めて最近の臺議本省年會の勝利に歸してゐる。并は一仁吾の國情力と同志應援の力に依つて得られた一步也。進く年前へ前へと進人飛呉水若秀の背後には吾之同志が矣。何者立ち恐れ未勇敢仁闘の如也!!